

解答

問1 (ア)

問2 (あ) 関ヶ原の戦い

(い) 麻糸を績んで布に織り、服を手作りすることは、たいへんな手間と時間を必要とするから。

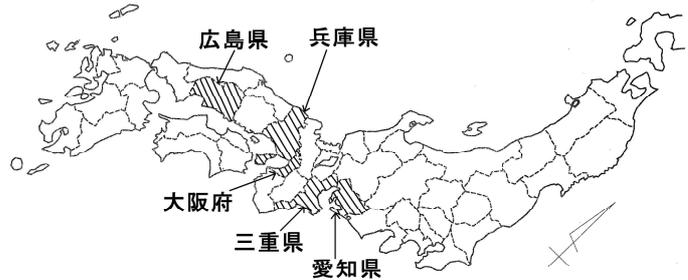
問3 木綿は、糸を作る作業が麻よりもはるかに簡単であった。また、木綿の布は肌触りがよく、色を染めることも容易なうえ、丈夫で汗をよく吸収するなどの長所があったから。

問4 右の図

問5 羊

問6 (あ) 生糸

(い) 明治時代中ごろの1890年には、綿糸や毛織物・綿織物などの繊維製品が輸入され、国内の消費にあてられていた。その後、綿工業や絹織物業が発達し、大正時代の1920年には綿花を輸入して綿糸や綿織物を作り、大量に輸出するまでになった。また、これらの時期を通じて日本の製糸業はさかんで、生糸は日本の重要な輸出品の一つであり続けた。



問7 中国をはじめとするアジア各国で工業化が進み、安い人件費などをいかして安くて質のよい衣類を生産できるようになった。円高が進んだこともあって、日本にもそれらの衣類が輸入されるようになったから。

問8 (例) 石油を原料とする化学繊維工業の発達は、ほかの石油化学工業の発達をうながした一方で、天然繊維の製造を衰えさせた。化学繊維には乾きやすい、伸び縮みしやすいなどの性質があるため、化学繊維が広まることによってわたしたちの生活は快適で便利なものになった。しかし、植物や動物を育てることによって原料を手に入れた天然繊維とは異なり、化学繊維が広まった結果、化学物質が世の中にあふれ、アレルギーの原因となるなどの影響が見られることは、忘れてはならないと思う。